

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

令和 3年 4月12日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名

題佛臣一



下記のとおり報告します。

日 程 令和2年11月24日（曜日）～ 令和 年 月 日（曜日）

活動先 越前市役所（第一委員会室）

活動目的 市政の財政と今後の課題について

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

【研修内容】 越前市の現財政と今後の財政健全化について分析。

- ・小西砂千夫氏（関西学院大学・経済学研究科教授）を招いて研修
- ・合併後の財政課題について、
- ・高岡市との比較も入れながら、将来負担率の見方について
- ・地方財政制度地方債・財政投融资と社会資本整備システムについて
- ・自治体の予算、決算システム・市町村合併等の課題について
- ・50年に一度のまちづくりにより、ハード整備された建設等の必要経費について
- ・市の今後の財政推移を市議会としてもしっかりと監視（チェック機能）をはたす。

（小西氏への講師謝礼費 50,000 円） 50,000 円 ÷ 5 名 = 10,000 円



活動結果報告書

令和 3年 4月 1日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名

題佛臣一



下記のとおり報告します。

日 程 令和3年2月28日(日曜日)～ 令和 年 月 日(曜日)

活動先 越前市民

活動目的 議会の活動内容を市民に報告するため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

第19号 市議会活動だより

- ・印刷業者 みなかみや印刷 支払額 261,800円
- ・新聞折込み 福井新聞 配布枚数 18,575枚 支払額 126,681円
- ・新聞折込み 福井広報センター 配布枚数 2,500枚 支払額 15,400円

合計 403,881円

*令和2年の議会活動や市民の皆様から頂いた意見や行政課題等を整理し、市議会だよりにまとめ、報告をすることができた。



だいぶつ臣一

発行

〒915-0054 越前市小野谷4-3-2
TEL090-5689-0741 FAX(0778)42-7237
E-mail : s.daibutsu@echizen-ysc.org
会派 創至

議会活動報告

市民の命と健康・生活を守る地方自治体の 公共的な役割

地域には、複雑で多様化した生活問題があります。住民主体の課題解決力強化・包括的な相談支援体制の構築を早急に進める必要があります。コロナ禍においても、つながりを絶やさない地域の支え合い活動が求められています。

包括的な支援体制



狭間の支援は自治体の役割

一般質問

令和2年 3月定例会 福祉行政について

【住民主体による福祉のまちづくりは】

Q 地域福祉活動計画策定の進捗状況と地域住民からの意見をどのように反映しているのか。

A 地域福祉ネットワーク会議のご意見を計画に反映していきます。また、自治振興会福祉部会や民生委員児童委員協議会連合会等からもご意見を聞き反映する予定。

だいぶつっの思い

市地域活動計画は地域課題を実践的に取り組んでいく大事な計画である。地域福祉の担い手がないことや、地域住民が高齢化であることから、それぞれの役割を明確にし、具体的にどのように活動を実践するのが、最も大切である。

【不登校児童生徒と家庭への支援は】

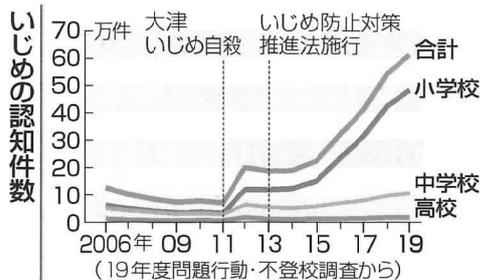
Q 不登校になってしまった児童生徒の支援体制をしっかりと考えていかなければならないが、学校の取り組みと福祉の連携をどのように考え進めていくのか。また、家庭教育の支援が必要になってくるが、教育委員会としての考えは。

A 個々の児童生徒に対しての支援方法を検討するため、ケース会議を開き、計画的な支援活動を実施。相談室や保健室でも、教員や教員補助員が子どもたちの相談にのるなどの支援に当たっている。家から出られない児童生徒には、スクールソーシャルワーカー（元教員3人）や訪問指導員、心のパートナーが家庭を訪問し、学習支援や登校支援も行っている。家庭教育は、家庭内のみで行われるものではなく、地域社会とのつながりを持ちながら、親も子ども共に学び、育ち合い、それを支援することが重要と考えている。

■自助・互助・共助・公助とは



自助・互助・共助・公助の役割



だいぶつの思い

家庭での日常生活が不安になることで、不登校になる大きな原因と言われるのがネット依存です。いまや日常生活を送るうえで欠かせないインターネット。毎日のように利用している私たちが、果たしてどのような状態を依存と呼ぶのか。2018年からゲーム障がいやギャンブル障がいと同様に、新たな病気として世界保健機関が認定をいたしました。インターネット依存症の状態が進行することにより、生活サイクルが狂うことで自身の健康、学業や仕事に影響を及ぼし、不登校・出勤拒否などにより、ひきこもってしまうケースが少なくない。また、家庭内（親子間や夫婦間）の衝突や暴言、暴力に至ることや、過度な課金に絡む金銭問題の発生。さらには犯罪に巻き込まれる。あるいは巻き込むなどの思いもよぬ問題に発展してしまう。もう一度親子関係の絆を見直し、家庭教育の大切さを社会全体で考えていかなくてはならない。



【ひきこもりの大きな原因は不登校から】

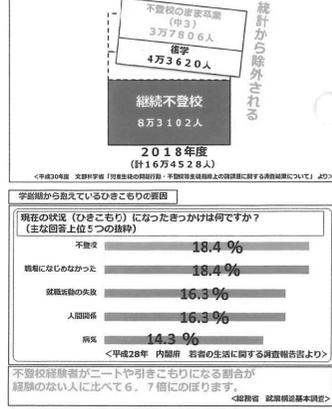
Q 不登校のまま卒業していった子どもたちの支援をどのように考えているのか。

A 中学校を卒業した子どもたちの居場所として、週一回、午後に希望学園を開放している。通園していた卒業生や保護者が相談に来たり、卒業しても学園の教師とつながりを持ちながら、居場所づくりに努めている。

Q ひきこもり者の方の自立に向けた支援体制の考えは。

A ひきこもりを生活困窮者予備軍として位置づけ、支援対象となるの考えから、社会福祉協議会に委託している自立相談支援事業を実施し、市においては就労準備支援事業を実施している。今後、これまでの相談事業について検討する中で、事業対効果と課題を整理し、両事業の制度運用のあり方を見直したいと考えている。

毎年3万人以上の子どもが不登校のまま中学を卒業しています。



制度の狭間にあるひきこもり支援



だいぶつの思い

制度の狭間にあるひきこもり支援は、他の自治体も後回しになっているのが実態である。それぞれの役割を明確にし、連携をとっていかねばひきこもり者への支援は行き届かない。行政で出来ることには限界があり、特にひきこもり者は昼夜逆転しているケースが多く、働く家族を考えれば、時間外や土日、祭日に相談や面談がどうしても多くなっていく。専門性のある民間に支援体制を作っていかなければ、ひきこもり支援は遅れてしまう。自分の居場所を見つけれず、悩んで苦しんでいる方々が越前市にも多くいる事を分かって欲しい。

令和2年 6月定例会

新型コロナウイルス感染拡大による市の対策は

【中小企業・小規模事業所への支援策は】

Q 休業や時間短縮を余儀なくされた中小企業・小規模事業所の支援策をどのように考えているのか。

A 本市では、コロナに負けない事業所応援補助金により、中小・小規模事業者が行う新型コロナウイルスの影響を払拭しようとする様々な前向きな取り組みを、迅速に、幅広く、積極的に支援するため、補助率10/10、限度額10万円で支援しており、今後コロナに負けない地域応援商品券の取扱店の募集、新型コロナウイルス対策取組宣言店の募集とも連携しながら、活用事業者を広げ、支援していきたい。

【就職氷河期世代への支援は】

Q 本市においても、新型コロナの影響で、さらに就職氷河期世代が非正規雇用の中、不安定な生活を送っておられる方が多くいるのも現実としてある。本人が希望を持ち続けられる細かくても長い支援が必要ではないか。また、市独自の企業への支援、さらには、企業が雇用体制を考えて行かなければ、就職氷河期世代への支援につながらないのではないか。

A 今回の新型コロナの就職の影響も含め、大きな課題である。コロナ関連危機を乗り越えていくためにも、国や県の支援策と連携し、中小・小規模事業者の前向きな取り組みを幅広く支援するなど、今後とも、福井労働局やハローワークたけふ、県、商工団体、産業支援機関等との連携を深め、積極的な雇用体制に取り組んでいく。



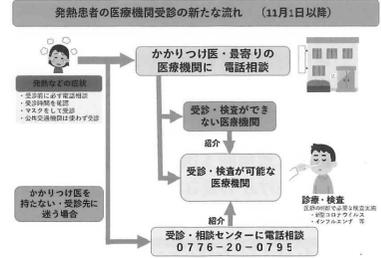
令和2年 9月定例会

新型コロナウイルス感染拡大による医療・教育・福祉現場での影響は

【PCR検査体制は大丈夫か】

Q 厚生労働省ではインフルエンザ流行に向けて多数の発熱患者・新型コロナとの識別困難なことから、日ごろから利用されている身近な医療機関に相談・受診等の必要な検査が受けられる体制「新しい受診の流れ」になってくると言われている。かかりつけ医・身近な医療機関が対応可能になってきているが、かかりつけの病院がない方はどうなるのか。医療現場での混乱はおきてこないか。

A 発熱が4日以上続くなどがPCR検査の条件となっていたが、現在では、息苦しさや強いだるさ、高熱などの強い症状のいずれかがある場合はもとより、高齢者の方、基礎疾患等のある方や基礎疾患がなくても比較的軽い症状が続いている場合でも、早い段階で検査を受診できるようになってきている。



【不登校気味の児童生徒や気がかりな児童生徒への対応は】

Q コロナの影響で長期の休校により、不登校気味や気がかりな生徒が心配されるが、どのように学校現場で指導されているのか。また、気がかりな子への支援ツール「子育てファイルふくいっ子」の活用状況は。

A 臨時休校中は、担任が児童生徒や保護者と電話で連絡を取り合い、家庭での学習状況や健康状態の把握に努めてきた。不登校気味や気がかりな児童生徒には、生活に関する意識調査の結果を基に、教育相談やスクールカウンセラーによるカウンセリング、不登校自立支援員による学習支援を行っている。また、発達に支援を必要とする子どもに対し「子育てファイルふくいっ子」を活用し、個別の指導、支援計画を作成することで、幼児期から学齢期、青年期への切れ目のない支援に役立っている。

令和2年 12月定例会

北陸新幹線敦賀開業の延期について

【工事の遅れにより、今後の市全体の街づくりに影響はないか】

Q 敦賀開業1年遅れや建設費も2,880億膨らむと突然、鉄道・運輸機構が明らかにした。今後、果たして敦賀開業が1年遅れで済むのか。23年春の敦賀以西の着工に影響が出てこないか。工事の遅れにより、市の切迫している市の財政を考えると、今後、市全体のまちづくりに影響が出てこないか。

A 敦賀開業の延期について、本市では令和5年春の南越駅(仮称)の整備や道の駅の整備など様々な事業に取り組んでいる。工期の短縮等について、県や他の駅設置市と連携し強く要望していく。



だいぶつの思い

南越駅（仮称）周辺まちづくりは、先端産業の誘致を目指し「オープンイノベーション」を進める官民連携のプロジェクトの概要を2020年内に示す方針であり、企業誘致には手ごたえを感じているとのことだが、1日に何本の新幹線が停車するか分からない状況。特急が止まらないこととなると、駅からの乗車客だけを期待しては、道の駅は成り立たない。

複合課題に民間活力を生かし専門性のある支援を

【丹南地区に若者の職業的自立支援「丹南サテライト」設置を】

Q 現在の無業者の若者や、ひきこもり者、生活困窮者の支援体制が分かりにくく、相談を必要としている方々への支援にはつながっていない状態になっている。広義のひきこもり者と狭義のひきこもり者の支援内容が変わっていくため、支援に入りにくい状況にもなっているのが実態。

現在、福井県では「地域若者サポートステーション」が福井市と若狭町サテライト・小浜サテライトが設置されており、15歳から49歳の無業者を対象に就職相談や職場体験・交流サロン等のサポート体制が身近で受けられている。不登校から中学校を卒業した若者も含め幅広い世代の支援が可能となることから、越前市に丹南地区を対象にした「常設型サテライト」設置に向けて県への働きかけをして頂きたい。

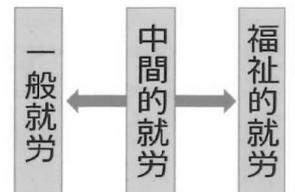


丹南地区にも常設型サテライト設置を要望

A 市では重層的支援体制整備として包括的な相談窓口を検討している。必要な機能について検討する中で、県への働きかけが必要な場合は、適切に対応していく。

【中間的就労の企業の協力】

Q 就職氷河期世代の支援は採用企業側の受け入れにつながる支援体制も、かなり重要になってくる。就労意欲がありながら、経験不足なため、なかなか働けない方への教育訓練や職場実習、専門ノウハウを生かした中間的就労の取り組みを企業の協力含め、作っていかねば、不安定な収入により税金を支払えない若者や困窮者が増えてきている。複数課題に対応できる民間活力を生かし専門性のある支援を取り組んで頂きたいが、対策はあるのか。



A 市の方向性としては、庁内複数の所管課及び民間事業者も含めた相談窓口や調整組織が必要と認識している。また、その相談窓口から、ひきこもりをアウトリーチ支援し、段階的に就労へつなぐという総合的かつ一体的に支援できるような体制を検討している。

だいぶつの思い

将来への希望がなくなり、働く意欲がない若者が増えてきている。将来的には、社会保障や福祉行政の膨張により財政難に陥ることになるのではないかと懸念している。

福祉行政の支援体制は縦割りの弊害により、支援を必要としている方への支援が行き届いていなかったのも事実である。市においても「断らない支援体制」に向け、包括的に相談窓口を検討し、それぞれの支援者と寄り添った支援体制を着実に進めようとしている。行政が出来ること、出来ないことを明確にして、専門性を持った民間に移行していくことで、安心した支援体制になるのではないかと期待している。



皆様の声をお聞かせください!

相談窓口：090-5689-0741

様式第4号 (第5関係)

活動結果報告書

令和 3年 4月 1日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名

題佛臣一



下記のとおり報告します。

日 程 令和3年1月15日(金曜日)～ 令和 年 月 日(曜日)

活動先 越前市民

活動目的 会派創至として議会活動を市民に報告するため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

会派創至 2021 機関誌発行

・印刷業者 大沢印刷 (B4カラ-24,000枚) 支払額 160,000円

・新聞折込み 福井新聞 配布枚数 18,575枚 支払額 57,582円

・新聞折込み 福井広報センター 配布枚数 2,500枚 支払額 7,000円

・消費税 22,458円

合計 247,000円

(247,000÷5名=49,400) 1名の政務活動費は 49,400円

*会派創至として初めての機関誌を発行する

①会派創至の市民と語る会で皆様から頂いた提案等の報告

②市長に会派でまとめた次年度に向けての提言書提出

③個人としての活動報告等

会派・創至メンバー

小形 善信 題佛 臣一 吉村 美幸 清水 一徳 中西 昭雄

会派・創至 語る会を開催

10月27日・28日・29日に、市内3会場で「市民の皆様方と会派・創至との語る会」を開催させていただきました。以下に列記致しましたとおり、多くの御意見を頂きました。皆様の意見・要望は会派内で協議のうえ議会活動に反映させてまいります。

■瓜生産業団地造成の件で欠損したが、議員はなぜ認めたのか、大問題とすべきである。損金の6,218万円は非常に重い金額である。我々の血税を大事に使い。頓挫理由は何か。誰も責任を取っていない。責任は誰がとったのか、議会での対応を教えてください。

■(仮)南越駅周辺まちづくり計画においてフォレストシティ、越前市版スーパーシティって何だ。現状の問題点は何か、新幹線駅前周辺整備は新幹線開業までに整わせるべきである。道の駅周辺の開発については、先祖から受継いだ地である、見通しと早急な対応を問う。

■春日野川の整備をしてほしい。春日野町地籍の砂防ダム、土石流、の現場を見る。新幹線工事で大型ダンプが多く通過している、荒れた道路を早急に整備しろ。

■昨年の議会での語る会でも伝えたが「希望学園」の環境が非常に悪い。移転するときに関係者の意見を聞いたのか。当時の教育委員会の対応と考え方を疑いたい。

■議事録削除の件で全国的に越前市の恥を上塗りしてきたが、当事者の謝罪が見えない。謝罪をしっかりと。裁判費用は36万円だが負けた市議会議員が負担すべきである。

■新聞記事で越前市の債務状況を見たがどう償還するのか、市民に負担をかけないように。財政については危機感を非常に感じている、収入見通しに合っているのか。50年に一度のまちづくりで建設された施設の維持管理費の増加状況を知りたい。日々安泰な生活を求めている。子や孫に借金を残してまで投資をするな。夕張市と同じになる。

■市議会だよりが非常にみにくい。見せたい思いが伝わらない。

■冠山道が開通するが、越前市域の417号線周辺では経済効果を生かした開発を積極的にするべき。

■今立地域にて公有資産である土地などを売却するが、地域への還元を考慮せよ。

■武生駅前線の整備等でどれくらいの活性化があるのか、効果は期待できない、無駄を省け。

■藤波亭の改装では何の活性化と効果を計画するものか、無駄なことはするな。

■議員の政務活動費削減論は理解できない、議員に仕事をするなどという事か。

■市長と議員とは車の両輪である。議員はブレーキとアクセルを上手に踏み、また、政策や予算の組み替えなどを提案できるほどであれ。

■福祉計画にて自助、互助、共助、公助、を計画しても「地域支合い」は実態に沿っていない。

■武生商業高校の学舎を有効利用しろ、学生がものづくりなどの勉強ができる場にしてい。

多くのご意見をありがとうございました。
今後も自由に発言できる場を設けてまいります。



市長に提言書提出

1 元気な産業づくり

- ・瓜生産業団地造成事業の中止の反省を踏まえ産業活性化プランの着実な推進と北陸新幹線南越駅(仮称)周辺エリアの具体的な開発計画と計画的進捗を求める。
- ・国道417号線の早期実現を目指し主体性をもって関連市町と共に要望活動を行うこと。
- ・並行在来線における関西・中京方面のアクセスについては快速電車の延伸を強く要望すること。

2 元気な人づくり

- ・高齢者の介護予防、健康づくりの推進に際し、地域包括支援センターの機能充実をさらに図り、介護予防、生活支援サービス事業に対し支援すること。
- ・今後も高齢化社会が進展していくなか、特に2025年、2040年を視野に入れた計画的な介護サービスの基盤整備を行うこと。
- ・外国人児童を取り巻く現状を認識し、日本人児童の取り巻く環境も鑑みながらさらなる多文化共生社会の充実と、外国人市民を雇用する企業と連携し子育て支援に対し企業内保育を要請し、同時に学校等での外国人児童に対する支援を継続的に行うよう取り組んでいくこと。



3 快適で住みよいまちづくり

- ・中心市街地が「越前市の顔」として活性化できるよう、引き続き賑わいの創出、居住促進、商業振興に対し支援を行うこと。
- ・中央公園はもとより、文化センター・市立図書館周辺の駐車場の確保を図る事。

4 安全で安心なまちづくり

- ・中心市街地の老朽空家の対策については支援を拡充し、さらに危険老朽空き家に対する市の強制力強化を図る事。
- ・通学路や横断歩道、歩道のバリアフリー化など、人優先の生活道路の整備や融雪装置等の環境整備、市民生活に密着した社会基盤整備を優先すること。

5 市民が主役のまちづくり

- ・地域自治振興事業の内容や交付金の在り方については、自治連合会と協議をしながら見直しを図っていくこと。

小形 善信



「会派・創至」は、二元代表制の一翼を担う重大な責務のもと、地方公共団体の事務執行の監視機能及び政策立案機能を十分に発揮しながら、日本国憲法に定める地方自治の本旨を目指すものとして、会派各員を尊重しつつ自由闊達な討議を旨としながら市民の負託に応えるべく活動しようと結成いたしました。

会派の活動と致しましては、なるべく多く市内全域の皆様方からの御意見を聴取すべく、「創至・主催の語る会」を市内3会場で開催させていただきました。多くの御意見を承りますと共に好評化を得てきたところであり、今後も同様の「語る会」を定期的に開催させ

ていただきます。
我々「会派・創至」では全体の奉仕者であるとの信念の元、「志」を一つにした活動をしてまいりたいと決意している所であり、今後ともご支援とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

さて、私は行政監視として、越前市の総合計画達成度評価について、外部評価導入のあり方、及び、中央公園周辺の不動産売却と、駐車場整備について質し。

政策立案については、電子自治体の推進は当然ながら、その先を見据えた質の高いサービスを市民に提供するには、AI・IoT(人工知能等)を導入し、効果的・効率的な行政運営にするようにと提案。

また、住民の安全を保つ為の国の方針では、これまでより1.5倍もの大幅な事業拡大予算となることから、国土強靱化地域計画での当市の積極的な予算獲得についても提言を致しました。今後ともアンテナを高くして、政策提案に結びつくような議会活動を致したいと思っている所であり、皆様のご支援をお願い致します。



「市民の意見を反映するのが
議会の責任と役割」

2021年がスタートいたしました。新型コロナウイルス感染症拡大の直撃を受けた市内の企業は、いまだ回復の見通しがたっていない。感染収束の兆しは見えず、コロナ禍の中でどう中小企業・小規模事業者が生き残っていくかが勝負の年になってくると考えられます。コロナに負けない前向きな取り組みとして事業所等応援補助金や地域応援商品券などの市の取り組みは一定の評価はできるが、休業を余儀なくされ

た企業や経営自体が継続できない企業にとっては、満足の出来る支援とは言えません。今年も、コロナ禍の中での雇用問題や福祉分野の支援体制が重要な課題となってきます。更に今年も、労働分野の制度改正が新たに始まってきます。派遣労働者からの苦情対応を義務付け、障がい者の法定雇用率を0.1ポイント引き上げ、社員70歳までの就業機会確保の努力義務、「同一労働同一賃金」の規定を中小企業にも適用など、働き方にも大きな転換になってきます。また昨年の12月に突然、明らかにされた新幹線敦賀開業の遅れや建設費の増額に伴う財政負担を沿線自治体に求めることは許されない事であります。市の課題は山積みです。今年も会派創至は市政チェックの役割を果たして参ります。



語る会大盛況!



令和2年12月議会では ■政策決定プロセスについて ■人生100年時代における越前市の高齢者支援 ■デジタル化への考え方・方向性の3点になど、今回で26回目の一般質問をさせていただきます。

私は、その時その時の問題点を提起させていただいてきましたが、やはり財政、子育て、高齢者問題での質問が絶対的に多く、平成27年9月の議会から「半世紀に一度のまちづくり」について財政面での質問をしております。

令和2年は新型コロナウイルス感染拡大防止において、「感染症対策の補正予算が相当組まれましたが、令和2年12月までの補正予算において、総額99億3,194万7千円が新型コロナウイルス感染症対応での予算、及び地方創生臨時交付金として執行される予定ですが、12月17日現在ではまだまだ執行率の低い事業もある状況です。

ところで、今日までの努力の割りに越前市の財政は健全化できていないと私は思っています。



半世紀に一度のまちづくりで建設された施設の管理費用も相当な金額となってきており、人口減少と超高齢化社会において、高齢者支援や子育て支援の経費がまだまだ増大していきます。

市当局より財政については健全化を図り、計画的、効率的、効果的な財政運営を行うとの答弁は毎回聞いておりますが、なぜ執行率が低いのか精査しながら次の議会に繋ぎたいと思っています。

今後とも、本当に必要な事業にはしっかりと予算付け出来るよう提言してまいります。



令和2年12月の議会では会派の代表質問を行いました。越前市総合計画の「まちづくりの5本の柱」に沿って、私たち会派が課題としている16項目について質問しました。そのなかで私自身が特に注目しているテーマについてご報告いたします。

Q.既存市営住宅の適切な維持管理と今後の需要予測に基づく供給予測について問う。

A.居住性向上のため特に給排水、給湯器設備、屋根防水、断熱工事を中心に改修を延1031戸(維持管理予定戸数781戸)行った、また今後の

需要予測では2045年に412戸余剰となる見込みだが、今後困窮世帯の増など短期的な変動については住宅局、福祉部局と連携して対応していきたい。

Q.来年度最終年度を迎える中心市街地活性化基本計画について今後の課題や対策についてどのように考えるか、また老朽空き家を含め、中心市街地の木造住宅密集地域の安心安全の確保や整備についての考えは。

A.令和2年度末に庁倉前広場が完成し、令和4年度末に北府駅鉄道ミュージアムの完成予定など「まちの顔づくり」のためのハード整備事業は終了する、今後は賑わい創出や、商業・居住施策によるソフト事業の推進が重要である。

老朽空き家対策は危険な空き家の解体撤去の促進や空き家等の各種活用策などの取り組みを図り、また木造住宅の耐震診断、耐震改修に対する補助制度を設け、併せて防火対策工事に対する補助金加算を行うなど今後とも積極的に市民の安全確保を進めていく。

質問の冒頭に、コロナ禍だからこそ異なる意見であっても尊重する事や、融

和を図る「和を以て貴しとなす」の精神を持って議会に臨むことの大事さを訴えた後、「会派での市民との語る会」で指摘されました件を質問致しました。

Q.希望学園の現在の場所は、児童生徒の活動場所として、十分か、課題はないのか。

A.登録人数が増え、一時的に20人近くに達することもあります。教室が不足する場合は、隣接する相談室を利用し対応している。

運動する場合は、週1回AW-Iスポーツアリーナを利用している。交通の結節点である駅前に立地していることで、子供の力で通園できる可能性や社会的自立学習の機会の増加が期待できる。市の中心部に位置しており、遠方に住んで居る場合でも、保護者があまり時間をかけずに送迎できることから移動は考えていない。

Q.越前和紙産業の課題で、伝統産業と文化財保



護の両面から、産業政策課と教育委員会の連携を密にすべきではないか。

A.越前和紙は、全国に誇る伝統産業であるとともに、市の歴史や文化を語るうえで欠かせない、貴重な文化財です。また、越前和紙は、絵画や書など、他の文化財を生み出すと共に、文化財修復にも多く使われる重要な素材でもあります。今後も国や県を始め、庁内の関係部署と連携を密にし、文化財保護に務めるとともに、伝統産業の特性を生かし、本市の魅力を最大限に引き出してまいります。

活動結果報告書

令和 3年 4月1日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名

題佛臣一



下記のとおり報告します。

日 程 令和2年10月27日(火曜日)～令和2年10月29日(木曜日) 3日間

活動先 越前市 (王子保公民館・岡本公民館・吉野公民館)

活動目的 会派創至との語る会 (地域の課題や市政全般への意見聴収)

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

第1回会派創至との語る会

(場所・日時) 経費(チラシ代・看板代・会場費・備品) 200,952円(1名40,190円)

・10月27日(火曜日) 王子保公民館 17時～20時30分

・10月28日(水曜日) 岡本公民館 19時～20時30分

・10月29日(木曜日) 吉野公民館 19時～20時30分

(開催内容)

*各会場とも午後7時より午後8時30分の予定で開催

*時節柄、コロナウイルス対応の為、会場の定員を鑑み、入場制限の協力を頂いた

*マスク着用と手洗いやアルコール消毒・検温にもご協力をお願いした

(一部) 令和2年3月議会6月議会9月議会を終えての概要報告

*コロナ影響下における越前市の支援事業について

*南越駅周辺整備について

*中央公園の整備について

*瓜生産業団地について

*越前市の財政について

.....
*今立地域の福祉機能強化について

.....
(二部) 意見交換・今後の議会への提案等

.....
(皆様からのご意見)

.....
*瓜生産業団地造成の件で欠損したが、議員はなぜ認めたのか、大問題とすべきである
.....
損金の6,218万円は非常に重い金額である。我々の血税を大事に使い。頓挫理由は何か。
.....
誰が責任を取るのか。

.....
* (仮称) 南越駅周辺まちづくり計画においてフォレストシティ、越前市版スマートシ
.....
ティってなんだ。道の駅周辺の開発については、先祖から受け継いだ土地である、見通
.....
しと早急な対応をしてほしい。

.....
*春日野川の整備をしてほしい。春日野町地籍の砂防ダム、土石流の現場を見てほしい
.....
新幹線工事で大型ダンプが多く通過しているが、荒れた道路を早急に整備してほしい。

.....
*希望学園の環境が非常に悪い。移転するときに関係者の意見を聞いたのか。

.....
当時の教育委員会の対応と考え方を疑いたい。

.....
*議事録削除の件で全国的に越前市が恥の上塗りをしてきたが、当事者の謝罪が見えな

.....
*50年に一度のまちづくりで建設された施設の維持管理費の増加状況を知りたい。

.....
*市議会だよりが非常に見にくい。見せたい思いが伝わらない。

.....
*冠山が開通するが、越前市417号線周辺では経済効果を生かした開発を積極的にする
.....
べき。

.....
*今立地域にて公有資産である土地などを売却するが、地域への還元を考慮してほしい

.....
*武生駅前の整備で等でどれくらいの活性化が期待できるのか。効果はないのでは。

.....
*議員の政務活動費削減論は理解できない。議員に仕事をするなという事か。

.....
*福祉計画について自助・互助・共助・公助を計画しても「地域支え合い」は実態に
.....
沿っていない。

.....
*武生商業高校の学舎を有効活用してほしい。学生がものづくりなどの勉強ができる
.....
場所にしてはどうか。

.....
市民の皆様には多くのご意見を頂き、即回答が出ることは回答させて頂き、調査する
.....
べき事は、会派で調査し回答。また課題を精査し議会へ提案していきたいと考えている。
.....
.....



越前市議会議員

会派・創至との語る会

今回“会派・創至”は市内3か所で語る会を開催させていただきます、地域の課題や市政全般への御意見をお聞かせください。



会派・創至



小形 善信



題佛 臣一



吉村 美幸



清水 一徳



中西 昭雄

開催内容

一部 令和2年3月議会6月議会9月議会を終えての概要報告。

二部 ご意見を伺いし、今後の議会での提案を鑑みましての語る会。

今年度議会での主な内容

- ① コロナ影響下における越前市の支援事業について
★福祉の対応 ★高齢者の対応 ★生活困窮者の対応 ★小規模零細事業者の対応
- ② 南越駅周辺整備について
★駅前整備・スマートシティ・フォレストシティ
- ③ 中央公園の整備について
★大型遊具老朽化対策・水泳場最整備事業
- ④ 瓜生産業団地について
- ⑤ 越前市の財政について
- ⑥ 今立地域の福祉機能強化について



開催日時・場所につきましては、裏面をご覧ください。➡

※このご案内は政務活動費にて作成しています。

下記要領で開催させていただきます。

各会場とも 午後7時より午後8時半の予定で開催いたします。

時節柄、コロナウイルス対応のため施設の定員を鑑みた、入場制限の場合にはご協力ください。

マスク装着と手洗いやアルコール消毒にもご協力ください。

10月27日(火曜日) 19時～20時30分

王子保公民館 (スポーツルーム・定員90名)

東・西・南・北日野・王子保の方々もお越しください

10月28日(水曜日) 19時～20時30分

岡本公民館 (定員60名)

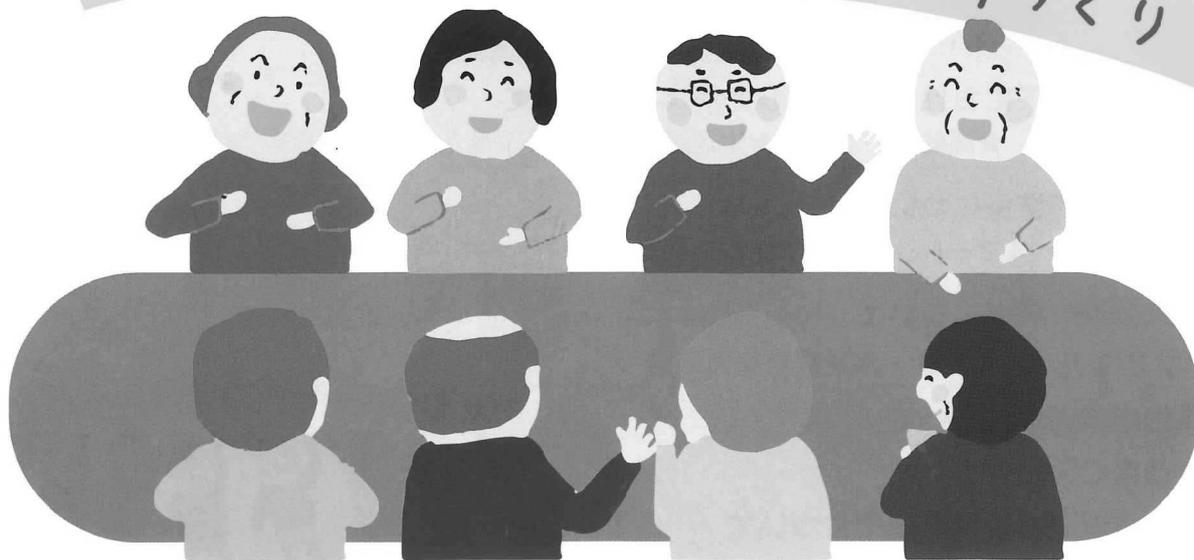
粟田部・岡本・南中山・服間・国高・味真野・北新庄の方々もお越しください

10月29日(木曜日) 19時～20時30分

吉野公民館 (定員35名)

神山・吉野・大虫・坂口・白山の方々もお越しください

安全・安心明るく元気な街づくり



皆様のご参加をお待ちしております!!